





昭和51ノリ年度

ノリ養殖の経過と問題点

生産者の皆さんは最後の資材の後片付けをしながら本年度の例年にならない環境や養殖管理などで直面した苦勞を思い返されていること

養殖環境の経過

本年度の気温水温、降水量は図1のとおりです。気温は9月から平均より低目を経過し水温も10月中旬で1℃前後低目という、いわゆる早冷型を示しました。

養殖経過

は全般に順調に生長し、11月上旬には殆ど網が入庫されました。なお、アオ対策などで干出過多になったと考えられる網に芽の形態異常や芽落ちが観察された他は、芽イタミ症などの病害は認められませんでした。

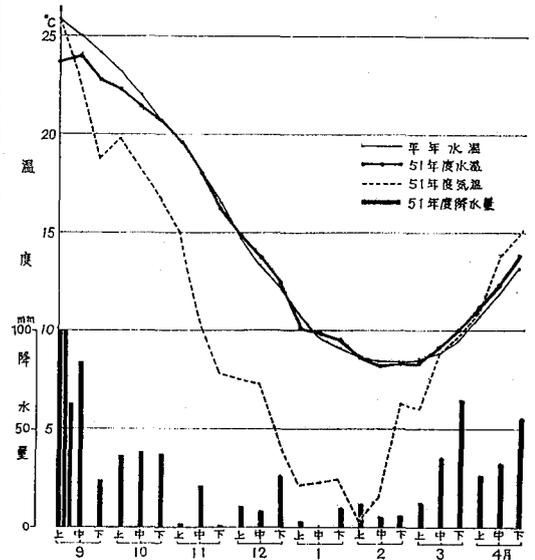


図1 昭和51年度旬別水温、気温、降水量変化図(明石、9時)

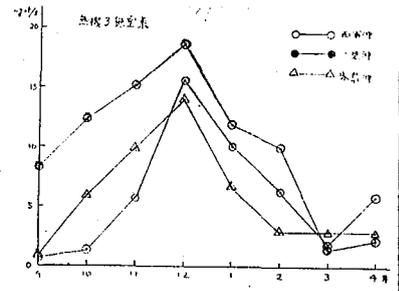


図2 昭和51年度ノリ漁場の整案、リンの月変化

旬からアカサレ病の急激なまん延と付着珪藻によるダクサレ症状が併発し、陸に近い漁場から次第に終漁し、沖合いの漁場も4月末に殆ど終漁しました。その後に自家採苗網や健全な移植網の棄体に産状菌の感染が観察されました。生産状況 本年の生産量は共販結果によると6億7千枚で、51年度に比べ約1千枚の減産になっていました。この原因は3の依存度が高く、移植網への生産伸び率でみると、ほぼ

種網および本張状況例

Table with 5 columns: 組合名 (Cooperative Name), 地種 (Local Variety), 移九 (Transferred to Kyushu), 種網 (Net Type), 本張状況 (Current Status). It lists data for various cooperatives in the West Sea area.

※1/2以後全面張込

東浦地区 51.11.18現在

Table with 5 columns: 組合名, 地種, 移九, 種網, 本張状況. It lists data for cooperatives in the East Sea area.

※1/2以後本張開始

来年度の対策

本年度の養殖経過からみられるだけ地先の漁場を最大限に利用して地産網を生産できるだけ少なくすることを目指す。また、昭和45年から開発してきた日本海での採苗を重視し、来年度はぜひ実施

壺状菌病害調査別

Table with 5 columns: 場所 (Location), 葉長 (Leaf Length), 壺状菌 (Cup-shaped fungus), 移植 (Transplant), 備考 (Remarks). It lists survey results for cup-shaped fungus disease in the West Sea area.

※1/2以後本張開始

明石浦漁協 51.12.4現在

Table with 5 columns: 場所, 葉長, 壺状菌, 葉体状況, 備考. It lists survey results for cup-shaped fungus disease in the Akashi Bay area.

※1/2以後本張開始

明石浦漁協 51.12.11現在

Table with 5 columns: 場所, 葉長, 壺状菌, 葉体状況, 備考. It lists survey results for cup-shaped fungus disease in the Akashi Bay area.

※1/2以後本張開始

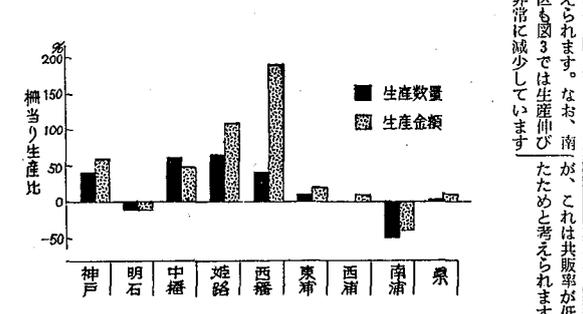


図3 昭和50年度と対比した本年度網当り生産伸び率(共販資料による)





